

(仮称) 苫小牧市周辺エリアにおけるまちづくりの在り方検討調査業務 公募型プロポーザルに係る質問回答一覧

令和6年7月1日現在

No.	質問事項	質問事項の内容	回答
1	参加資格要件について	JVによる参加は可能でしょうか。参加可能である場合、参加意向書（第6号様式）に各社の添付書類が必要という理解で良いでしょうか。	JV（共同企業体）による参加は可能ですが、各社が参加資格要件を満たす必要があります。 また、代表者を定めるとともに、各社が捺印した協定書（様式は自由）の写し及び各社の添付書類が必要となります。
2	閲覧資料	関連業務（苫小牧駅周辺ビジョン策定業務等）に関して、閲覧可能な資料はありますでしょうか。	以下のリンクから、関連業務に関する資料を閲覧できます。 苫小牧駅周辺ビジョン https://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/kanko/resort/vision.html 苫小牧駅周辺ビジョンに基づく基本構想 https://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/kanko/resort/kihonkousou.html 北海道経済発展のために苫小牧市が何をすべきかを考える有識者懇談会 https://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/kanko/resort/smartcity/report.html

3	「臨空ゾーン」の取扱いについて	仕様書「2 業務背景・目的」に「臨空ゾーンにおける国際リゾートの展開」との記述がありますが、「苫小牧都市再生コンセプトプラン」では、この「臨空ゾーン」については、あまり触れられていないように思います。本業務における「臨空ゾーン」の取扱いについては、どのように考えればよろしいでしょうか。	「臨空ゾーン」は、本市の3つの成長戦略の方向性を示した一つの要素であり、その背景を踏まえた今後のまちづくりにつながる提案を期待しています。
4	公共交通・移動に係る現況調査について	仕様書「5(1)現況調査」に記載のある「公共交通・移動に係る現況調査・分析」についてですが、いわゆる交通量調査は想定していないという理解で良いでしょうか。	調査の手法については定めておりませんので、目的を達成できる手法をご検討ください。
5	まちづくりの在り方検討会議のメンバーについて	評価基準「2(2)カ」において、「具体的な検討会議メンバー案が提示されており」とありますが、これは個人名を示すということでしょうか。	個人名、企業や団体名等の指定はございません。
6	苫小牧市税の納税証明書について	参加意向書に添付して提出する必要がある添付書類の内、苫小牧市税の納税証明書について、苫小牧市に納税していない場合は、何を提出すればよろしいでしょうか。	苫小牧市に納税していない場合は、代替書類等の提出は必要ありません。
7	提案書作成要領 2(1)提出書類	添付資料等との記載があるが、提出すべき資料の具体的な内容をお示しいただけますか。	企画提案書の記載内容に、補足があれば提出していただく資料のため、必ず提出する必要はありません。ヒアリングの1者あたりの提案説明の持ち時間に収まるようご準備ください。
8	提案書作成要領 2(2)提出様式	用紙の縦横の向きの指定はありますか。	提案書について、縦・横使い、情報量の密度、枚数などの基準はありません。

9	提案書作成要領 2 (2) 提出様式	本文の文字サイズ、図表中の文字サイズについて、最小サイズの制限はありますか。	文字サイズの基準はありません。
10	仕様書 5 (1) 現況調査	業務の実施にあたり、市内の公共交通・移動に関する既往の調査結果として提供いただけるものをお示しいただけますか。	以下のリンクから、資料を閲覧できます。 苫小牧市地域公共交通計画 https://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/shisei/kokyokotu/kyogikai/tiikikoukyou/koutuukeikaku.html
11	仕様書 5 (5) まちづくりの在り方検討会議の設置・運営	同会議を何回開催予定かお示しいただけますか。	会議の開催回数は定めておりませんので、目的を達成できる運営支援内容をご検討ください。
12	仕様書 7 業務スケジュール	令和6年10月に実施予定の中間報告で報告すべき内容をお示しいただけますか。	素案のような内容を想定していますが、別途受託候補者と報告すべき内容を協議し決定する予定です。
13	評価基準 2 (3) ア(ア)	業務実施スケジュールの提案にあたり次年度の取組みとして想定されているものがあればお示しください。	次年度の取組みとして、事業の予算化につながる提案を期待しています。